





事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158  
 会長：中川博夫 副会長：唐澤千明 幹事：池上幸平



2015-2016 国際ロータリーのテーマ  
**世界へのプレゼントになろう**  
 Be a gift to the world

2015-2016 RI会長  
 K.R.“ラビ”ラビンドラン  
 スリランカ



**第1354回 例会 平成28年5月10日(火)**

■ 点 鐘 12:30

■ ソング 君が代・奉仕の理想・四つのテスト 池田幸平ソングリーダー

■ 会長談話 小川秋實直前会長



高速道路逆走が3年間に739件。7割が65歳以上で、その1割が認知症の疑いでした。すなわち、逆走の約7%が認知症がらみです。運転免許更新で65歳以上は認知症の検査が行われています。2013年度に検査を受けた145万人中、免許取り消しはたったの118人。65歳以上の7人に1人が認知症とされているので、軽度の認知症患者が運転を続けて、人身・物損事故を起こしているのが実状です。

軽度の認知症患者は、自宅で普通に生活していて、突然大事故を起こすことが少なくありません。事故を起こすまでに、「同じことを何度も言う」、「物忘れが激しい」、「腐ったものを客に差し出す」などの症状があったかも知れませんが、周囲は認知症と気づかないのが普通です。

軽度の認知症患者が事故を起こさないようにするには、危険な行動をしないよう見守るしかありません。ところが、今の介護保険制度は身体的に動けない人への支援を念頭に構築されています。そのため、認知症による徘徊や激昂などを見守るだけでは要介護度が低いと判定され、特別養護老人ホームへの入所は困難です。民間の介護付き老人ホームは高額のコストがかかります。政府は、認知症患者の在宅介護を勧めています。家族への負担が大きくなり、家庭崩壊に結びつきかねません。徘徊老人や自動車事故を減らすには、認知症の入所施設を増やし、軽度の認知症患者を施設内で見守るようにすることが不可欠です。

■ 慶 祝 5月誕生日祝い

- ・清水吉治会員
- ・藤澤健二会員
- ・橋場正尚会員
- ・井上修会員
- ・宮澤友浩会員



■ ニコニコボックス

- ◆小川秋實 本日、会長代理を務めますのでよろしくお願いいたします。
- ◆池上幸平 本日は中川会長が欠席です。小川先生よろしくお願いいたします。
- ◆熊谷健 特にめでたい事はありませんが、ゴールデンウィークを無事に過ごせたという事が、しいて言えばおめでたい事です。今日の例会は小川直前会長にお願いして会長談話をいただく事ができました。よろしくお願いいたします。

- ◆馬場秀則 460年前武田信玄に滅ぼされた上伊那八勇士の記念碑が完成。伊那百選にある蓮台場を見に来て下さい。
- ◆下井達典 元信大工学部留学生の結婚式に出席のため、台湾台北市に妻と行って来ました。台湾らしく蔭の主役は95歳の日本語世代の「おばあさん」でした。

■ 幹事報告 池上幸平幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。

■ 委員会報告

・4月28日（木）まつり記念事業プロジェクトチーム会議（第4回）の報告が矢野昌史会員よりありました。



・「ロータリーの友」5月号紹介 三澤耕太会員



横組

P-14～17 異文化に接してという記事

「留学を機にウラジオストクの大学に進学」

「ハグに驚く」

「一番の親善大使になるには」

P21 あなたのクラブに女性会員はいますか

RI会長は「男女の機会均等は『あった方がいい』ではなく『なくてはならない』。女性を排除しているクラブは才能、能力、人脈の半分を逃がして、ロータリー全体の奉仕にダメージを与えている」と述べている。

アメリカでは女性の入会に対してRIはクラブ認証を取り消した。そして裁判沙汰にまでなった。

■ 出席報告 会員数38名 出席免除会員7名 長欠会員2名 本日出席者21名 事前メイク3名  
出席率70.59% 前回出席率 修正なし

■ 理事会報告 池上幸平幹事

1. 地区事務所より「熊本地震義捐金」協力依頼について
2. 上伊那山林協会より「緑の募金運動」協力依頼について
3. 新会員候補者の推薦について
4. 健康維持例会について (5/17)
5. 事務所の休みについて (5/2)
6. 5月の行事予定並びにメイクアップ扱いについて
7. その他

■ 現・次年度委員会引継ぎと次年度委員会計画 各委員会毎に、現年度から次年度への引継ぎ等が行われた。

■ 点 鐘 13:30

次回例会  
5月17日（火） 点鐘 12:30 場所 海老屋料理店  
健康維持例会  
例会前：歴代会長会  
例会後：次年度クラブ協議会

## 「バラ鑑賞会」 於：セントラルパーク

### 1. 進行・開会……熊谷健SAA

### 2. 会長あいさつ…池上幸平幹事（中川会長のメッセージを代読）

西町から山寺までの商店街をバラで彩る事業は6年前の平成22年より始まっており、翌年には200種、千鉢のバラで商店街を飾りました。この事業は「伊那まちの再生やるじゃん会」が、伊那市中心市街地再生プランの一つとして始めたとお聞きしています。貴会は、情報発信基地「タウンステーション」の運営、買い物難民対策としての「出張販売」、日本酒文化再発見の場としての「呑み歩き」など各種事業を積極的に開催し、街を活性化しようと努力している姿に、まずはもって敬意を表します。

伊那中央RCは、貴会の中心街をバラで彩るという事業に賛同し、昨年、ロータリー財団地区補助金を使用してバラ植栽のお手伝いをしました。1回限りの補助金だから後は何もしなくてもよいとは思っていません。目的に賛同した以上、大それたことはできませんが、何がしかのお手伝いをしなくてはならないと思い、矢野会員を通じてこのような場を作ってもらいました。

鉢にバラを植え、あとはほったらかし、というわけにはいかないというのが、この事業のミソだと思っています。各商店の理解を得、育て方を学び、水やりや手入れもする。多くの方が長期間関わることによりコミュニティに連帯感が生まれます。元々は、バラで商店街を彩り、環境美化をして人通りを増やす、バラを介してお客さんとの会話を楽しむ、との思いから始められたと思いますが、地元の絆を深めたことが最大の副産物だったと邪推しています。

今後は、伊那中央RCをはじめとする各種団体、お膝元の伊那中学校、上農高校、信大農学部との協働・連携も考え、人と人との繋がりや輪を広げていただければと思っています。最後になりましたが、貴会益々のご繁栄と商店街の活性をご祈念申し上げ、挨拶といたします。

平成28年5月10日

伊那中央RC会長 中川博夫

### 3. 伊那市バラ咲く街角連絡協議会挨拶……内山和夫様・宮下浩様

### 4. 閉会……矢野昌史会員

